

令和5年度予算

その主な使い道

■福祉・医療・保健

- 出生祝い事業** 224万円
町内の出生児に対しお祝い品を贈呈します。また、第3子以降の出生児に対し、加算してお祝い品を贈呈します。
- 乳幼児医療給付事業（18歳まで）** 727万円
18歳までの方を対象に医療費を無償化します。
- 高齢者見守りサービス事業** 39万円
主に70歳以上のひとり暮らし世帯を対象に、見守り機器を貸与します。
- 高齢者等福祉サービス利用券交付事業** 768万円
主に70歳以上の高齢者を対象に、町内の入浴施設「ビュー温泉のとや」の無料入浴券又は北光ハイヤー利用券(500円相当)として使用できる利用券を対象全世帯へ郵送配布します。
- 補聴器購入助成事業** 30万円
聴力機能の低下がある高齢者に対し、補聴器購入に要する費用の一部を助成します。
- 高齢者世帯等除雪サービス事業** 516万円
高齢者世帯等が自宅の屋根の雪下ろし及び落雪の排雪、家屋周辺の除排雪を町内事業者又は高齢者事業団に依頼したときにかかる経費の一部を助成します。
- 介護職員研修費補助事業** 83万円
介護職員の人材確保及び資質の向上を図るため、「介護職員初任者研修」及び「介護福祉士実務者研修」の受講者に対し、研修受講料の一部を助成します。

■教育・文化

- 小中学校入学祝い事業** 206万円
木古内小・中学校の新入学生に対し、お祝い品を贈呈します。
- 他自治体所在高等学校通学補助金** 114万円
知内高等学校及び北海道福島商業高等学校に通学する町内に住の生徒の保護者に交通手段の確保と定額定期券の購入費用の一部を助成します。
- ICT教育支援事業** 224万円
小・中学校で実施している情報通信技術を活用した授業の支援に加え、児童・生徒・保護者向けに情報モラル教育を行います。
- 校務支援システム導入事業** 117万円
児童・生徒の学籍管理や成績管理などをデジタル化する校務支援システムを導入します。
- 教師用パソコン更新事業** 755万円
校務処理の効率化のため、教師用パソコンを更新します。
- 中学校体育館屋根改修事業** 4,050万円
老朽化した中学校体育館の屋根改修工事を実施します。
- 図書システム導入事業** 273万円
蔵書管理や利用者が書籍の検索等を行える図書システムを導入します。

■産業・観光

- 農村活性化センター外壁等改修事業** 590万円
老朽化した農村活性化センターの外壁・屋根塗装等工事を実施します。
- 森林整備対策事業** 231万円
森林所有者が行う下刈り・除伐・枝打ちに対し、町が経費の一部を助成します。また、森林認証を取得している除伐に対し上乗せ補助を行います。

- 漁業者チャレンジ応援事業** 1,454万円
町内漁業者の設備投資やウニ・アワビ・ナマコ等の種苗購入などを助成します。
- 新規漁業者育成事業** 919万円
地域おこし協力隊制度を活用し、新たな漁業従事者の育成を図ります。
- 特産品認定事業** 170万円
町内事業者の商談会への参加や新たな特産品開発を支援し、特産品の認知度向上や販売促進につなげます。
- 地方体験交流事業** 75万円
町の産業・イベント等の体験交流プログラムに参加する大学生等を全国から募集し、意見交換等を通じて、地域の活性化を図ります。
- 幸連牧場看板設置事業** 140万円
高規格道路「木古内IC」開通により観光需要が高まっていることから、幸連牧場内に町木である道南スギを活用した看板を設置し、高規格幹線道路を利用する観光客等へ、町のPRを図ります。

■生活環境・交通

- 移住・定住新生活しあわせサポート事業** 1,570万円
移住・定住を促進するため、空き家リフォーム事業やマイホーム取得促進事業、家賃補助事業などを実施します。
- 水道料金軽減事業** 560万円
「ふるさと納税」を財源に、今後5年間に於いて水道基本料金の軽減措置を行い、町民の負担軽減を図ります。
- 特殊詐欺等被害防止対策機器導入費補助事業** 30万円
高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止するため、固定電話に接続する通話録音装置や着信拒否装置等の機能を備えた固定電話の導入に要する費用の一部を助成します。
- 道南いさりび鉄道通学利用者助成事業** 254万円
道南いさりび鉄道を利用して高校や大学等へ通学する生徒の保護者に対し、通学定期券の3割相当額を助成します。
- 災害対応ドローン整備事業（消防）** 434万円
山岳・海難捜索や災害の被害状況の把握等、防災力の強化を図るため災害対応ドローンを導入します。
- 除排雪事業** 8,157万円
冬期間に行う町道等の除排雪の費用です。

■行財政・住民参加

- 議会モニター実施事業** 64万円
議会の運営等に関し、町民からの要望、提言その他の意見を広く聴取し、円滑で民主的な議会運営を推進します。
- デジタル人材活用事業** 824万円
急速に進化する情報化社会に対応するため、デジタル分野に長けた人材を確保し、より実効性のあるデジタル技術の活用や取組みを推進します。
- 第7次木古内町振興計画策定事業** 550万円
令和5年度で満了となる第6次振興計画の検証や町が抱える課題等の分析を行い、まちづくりの具体的な指針となる第7次振興計画を策定します。

各特別会計・事業会計予算

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	6億1,058万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,346万円
介護保険事業特別会計	7億4,479万円
介護サービス事業特別会計	271万円
下水道事業特別会計	4億2,294万円
介護老人保健施設事業清算特別会計	4,475万円

会計名	予算額
国民健康保険病院事業会計(収益)	15億7,870万円
国民健康保険病院事業会計(資本)	4億2,252万円
高齢者介護サービス事業会計(収益)	5億5,809万円
高齢者介護サービス事業会計(資本)	5,222万円
簡易水道事業会計(収益)	1億5,488万円
簡易水道事業会計(資本)	1億5,239万円
合計	49億1,803万円

※予算額はすべて歳出額